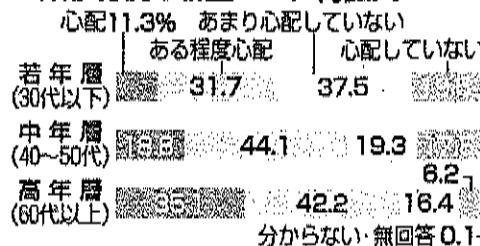


5類移行後の新型コロナ再拡大



再拡大「心配」

60代以上77%

中年層62% なお警戒感

共同通信社の世論調査によると、政府が5月3日から感染症法上の位置付けを5類に移行した後の新型コロナウイルス流行の再拡大に「心配している」との回答が高年層(60代以上)で計77.3%に上った。中年層(40~50代)で計62.9%で、若年層(30代以下)は計43.0%にとどまった。重症化リスクの高い高齢者ほど

世論調査

— 新型コロナ5類移行

— 少子化対策 社会保険料増額

現役世代 強い抵抗感

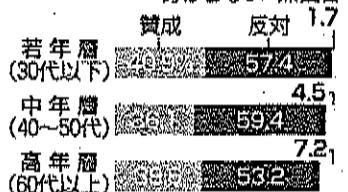
共同通信社の世論調査によると、少子化対策の財源を巡り、政権内で浮上する社会保険料増額への賛否を年代別に見ると、「反対」は中年層(40~50代)で最も高く59.4%だった。「賛成」は36.1%。若年層(30代以下)は反対57.4%、賛成40.9%、高年層(60代以上)は反対53.2%、賛成39.6%となつた。
【1面に本記】

中年層59%が反対

保険料増額によって負担が増す現役世代で、より抵抗感が強いと言えそうだ。

政党政権別に分析すると、自民党支持層の50.2%が賛成、45.4%が反対。公明党は賛成32.7%に対

少子化対策財源確保で保険料増額の賛否 分からない・無回答



し、反対65.0%で、与党内では温度差が見られた。主な野党も反対が賛成を上回った。反対は立憲民主党59.3%、日本維新の会51.7%、共産党87.0%、国民党54.7%。「支持する政党はない」とした無党派層は反対が67.1%で、賛成の25.6%を大きく上回った。

保険料の増額案に関しては、経団連などは負担が現役世代に偏るとして、幅広い世代が負担する消費税などを税財源の検討を求めている。

感染への警戒感が根強い状況が改めて浮き彫りになつた。

一方、「あまり」も含め「心配していない」は高年層で計22.6%。中年層が計37.1%、若年層は計57.0%だった。男女別で見ると、心配しているは男性計52.1%で、女性は計74.4%に上つた。全年齢層で女性の懸念が男性を上回つた。

政府が5類移行方針を決定した直後に実施した1月下旬の世論調査では、高年層でも政府方針への「賛成」が52.3%で「反対」の41.5%を上回つていたが、感染への不安は懸念には試えないよつた。

▽調査の方法＝全国の有権者を対象に29、30両日、コンピューターで無作為に発生させた番号に電話をかけるRD（ランダム・アンケート・ダイヤリング）法で実施した。実際に有権者がいる世帯にかけたのは510件、うち426人から回答を得た。携帯電話は、電話がかかるたのは2461件、うち620人が回答を得た。